一般質問の質問者順番と質問事項

（令和８年　第４回定例会）

質問順位	７　　９番議員　　栗野久明	
質問事項１	まちづくり基金事業の継続支援について	
質問の要旨	基山町まちづくり基金事業補助金は、平成19年７月の基山町まちづくり基金条例の施行、平成20年７月の事業実施要綱の施行を経て、町民や地域団体が自主的・継続的に取り組む、公益的な活動を支援する制度として実施されてきた。 制度開始以降、自治会、地域コミュニティ組織、ボランティア団体、NPO法人などを対象に、地域福祉、安全安心、地域活性化、環境美化など幅広い活動を支援している。 一方、交付団体数は平成30年度の22団体から、令和６年度には５団体まで減少している。 制度については、周知や申請手続の改善、団体間の連携強化など複数の課題があるが、特に補助期間終了後の活動継続支援について町の見解を問う。	
具体的な質問及び質問の相手	（１）　基金事業開始からの交付団体数の推移を示せ	町　長
	（２）　交付した支援対象内容を多い順から示せ	町　長
	（３）　交付団体数減少の要因について町はどう捉えているか示せ	町　長
	（４）　交付団体数減少に対しどのような対策を考えているか示せ	町　長

一般質問の質問者順番と質問事項

（令和８年　第４回定例会）

質問順位	７　　９番議員　　栗　野　久　明	
質問事項２	基山町観光事業の課題と今後の振興策について	
質問の要旨	基山町には、国の特別史跡である基肄城跡、大興善寺、基山（きざん）、草スキー場、長崎街道、酒造や飲食店など、歴史・自然・文化・食に関する多様な観光資源がある。 町は令和８年度の施政運営方針において、基山（きざん）、基肄城跡、草スキーなどを活用した観光誘客、体験型ツアー、近隣地域と連携した観光ＰＲを進める方針を示している。また、基肄城跡などを紹介するガイダンスセンターの整備も進められている。 一方で、観光資源が町内に点在しているため、観光地間の移動や情報発信、観光客の滞在時間、町内消費への波及など多くの課題があると考える。 観光客を一時的な来訪者にとどめず、町内を周遊し、飲食・買い物・体験などを通じて地域経済の活性化につなげるため、町の見解を問う。	
具体的な質問及び質問の相手	（１）　観光入込客数について、令和３年度から令和７年度までの年度別推移を示せ	町　長
	（２）　観光施策の成果指標をどう捉え公表しているか示せ	町　長
	（３）　観光事業の課題について町はどう捉えているか示せ	町　長
	（４）　今後の観光事業の振興策について町はどのように考えているか示せ	町　長